

ナメクジウオの形態

ナメクジウオ類の半透明で七色に光り輝いている姿は美しい。殻や棘などの身を守る構造のない外見は、現存の3属の間で驚くほどよく似ているが、*Branchiostoma*と比較して、*Epigonichtys*は体高が大きく背鰭が先端まであり、*Asymmetron*は脊索が後ろに伸びていることから、容易に区別がつく。

体制は単純で、背側から背鰭、神経索、脊索、咽頭、鰓がある。右側に肝盲嚢、排出孔より後ろには消化管がある。肛門は尾部後方にある。頭部先端は、脊索が神経索より前方に伸び、頭部腹側の口腔被蓋には髭（被蓋突起）がある。脊椎動物の目、耳、鼻に相当する器官はないが、それらに対応する感覚を受容する細胞はもっている。循環系には血球がなく、血管は腹側で開放している。

頭部中間の脊索右側に、発生時の形成過程から、下垂体の原基と考えられているハチェック小窟という器官がある。鰓の腹側の前後には内柱があり、ヨウ素を取り込むことから甲状腺の原基と考えられているが、脊椎動物にある甲状腺ホルモンはない。両側に一对の生殖腺があるが、雌雄異体である。卵巣と精巣の外観はよく似ており、生殖腺壁に囲まれた袋状の器官が連なっている。

ナメクジウオの体制

